

令和6年度

更別村教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

(令和5年度対象)

令和6年12月

更別村教育委員会

は　じ　め　に

平成 20 年 4 月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、教育委員会の事務管理・執行状況について点検し、評価をすることが義務付けられました。

この改正により、平成 19 年度分以降の教育行政に関する点検・報告につきまして、更別村議会に教育行政報告を行っているところです。

開かれた教育委員会を目指し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民の皆様へ教育委員会が執行した活動状況はもとより、「第 6 期更別村総合計画」及び「第 9 次社会教育中期計画」を基準とした実施状況等、事務の管理・執行状況について点検し評価を行い、令和 5 年度の事業等を対象として報告書を作成しましたので、ここに公表致します。

更別村教育委員会は、学識経験者の意見を踏まえ、この点検・評価を通じて教育施策を着実に推進してまいりたいと考えていますので、ここに村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和 6 年 1 2 月

更別村教育委員会

目 次

第1章 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の会議の開催状況	5
2. 教育委員会関係規則等の制定及び改正状況	6
3. 教育委員会委員の活動状況	7
4. 各種委員会等の設置及び概況	10
5. 令和5年度教育予算の状況	11
(1) 予算編成	
○当初予算・補正予算	
(2) 教育費の予算	
(3) 重点施策に関連する主な事業決算額	
6. 頑張る子供たちへの支援	18
7. その他	20
○令和5年度各会計決算資料の掲載事項	

第2章 第6期更別村総合計画に基づく評価

1 社会教育	22
2 芸術、文化	24
3 スポーツ	26
4 子育て支援	28
5 学校教育	30
6 青少年育成	33
7 国内外交流	34
◇ データ	35

8. 令和5年度 教育委員会の事務・事業 評価	38
(1) 評価の目的	
(2) 評価の区分	
(3) 評価書のランク	
(4) 事務・事業ごとの評価	
 ○事務・事業評価書	 41

第 1 章 教育委員会の活動状況

第 1 章 の ポ イ ン ト

教育委員会の会議の状況や規則等の制定・改正、委員の活動状況、各種委員会の設置状況など、令和 5 年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

1. 教育委員会の会議の開催状況

更別村教育委員会の会議は公開を原則として、以下のとおり開催しています。

この会議では、教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定・改正などを含む様々な議題について審議しています。

期 日	付 議 案 件 等
令和5年4月13日	(報告) ・令和5年度学級編制の認可及び児童生徒数等について 他7件 (議案) ・令和6年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について 他2件
令和5年4月17日	(議案) ・更別村教育委員会委員の辞職の同意について
令和5年5月23日	(報告) ・更別村教育委員会教育長の任命について 他4件 (議案) ・令和5年度教育行政執行方針(案)の提出について 他3件
令和5年6月21日 (移動教育委員会議)	(報告) ・各種委員の委嘱について 他1件 (議案) ・更別村学校給食費無償化助成金交付要綱制定の件について 他1件
令和5年7月18日 (移動教育委員会議)	(報告) ・幼稚園、小・中学校の夏季休業について 他4件
令和5年8月22日 (移動教育委員会議)	(議案) ・令和5年度教育費補正予算(案)の提出について 他2件
令和5年9月25日	(報告) ・更別村教育委員会委員の任命について 他2件 (議案) ・更別村立認定こども園上更別幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について
令和5年10月24日	(報告) ・教育行政報告について 他1件 (議案) ・更別村文化賞・スポーツ賞等受賞者の決定について
令和5年11月21日	(議案) ・令和5年度更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書(案)の提出について 他3件

令和5年12月19日	(報告) ・幼稚園、小・中学校の冬季休業について 他4件 (議案) ・更別村立学校の自家用車の公用使用に関する規程の一部を改正する規程制定の件について
令和6年1月22日	(報告) ・ときめき夢民塾の開催状況について 他2件 (議案) ・令和5年度教育費当初予算(案)の提出について 他1件
令和6年2月22日	(報告) ・スクールバス運行委員会委員の委嘱について 他2件 (議案) ・令和6年度教育執行方針(案)の提出について 他8件
令和6年3月15日	(議案) ・学校給食費の単価改正について 他8件
令和6年3月19日	(報告) ・令和6年度各種職員の採用について 他1件 (議案) ・更別村教育委員会職員人事の承認について

2. 教育委員会関係規則等の制定及び改正状況

令和5年度において制定及び改正された教育委員会関係規則等は次のとおりです。

○教育委員会関係規則等

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
(R5 年) 1	・ 更別村立学校管理規則の一部を改正する規則制定の件	R5. 3. 17	R5. 4. 1
2	・ 更別村高校生等入学支援金支給条例施行規則制定の件	R5. 6. 9	R5. 4. 1
3	・ 更別村認定こども園上更別幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定の件	R5. 9. 25	R5. 7. 1
(R5 年) 1	・ 修学旅行の引率業務等に従事する更別村立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領制定の件	R5. 3. 17	R5. 4. 1

2	・ 更別村子ども夢基金事業助成金交付要綱の一部を改正する要綱制定の件	R5. 3. 17	R5. 3. 17
3	・ 更別村学校給食費無償化事業助成金交付要綱制定の件	R5. 6. 21	R5. 6. 21
4	・ 更別村立学校職員の自家用車の公用使用に関する規程の一部を改正する規程制定の件	R5. 12. 20	R5. 12. 20

3. 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校行事、各種団体等の行事等に出席し、直接学校関係職員や地域の皆様のご意見を伺うなどの活動を行っています。

○主な活動状況

年月日	活 動 内 容	委員名
(R5 年)		
4/ 5	教職員辞令伝達式	佐藤委員他 3 名
4/ 6	更別幼稚園入園式	佐藤委員他 3 名
4/ 7	認定こども園上更別幼稚園入園式	本間委員他 1 名
4/10	更別小学校入学式 上更別小学校入学式 更別中央中学校入学式	神成委員 本間委員他 1 名 佐藤委員他 3 名
4/13	第 1 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
4/17	第 2 回教育委員会議	佐藤委員他 2 名
5/ 8	令和 5 年第 2 回更別村議会臨時会	佐藤委員
5/15	令和 5 年第 3 回更別村議会臨時会	佐藤委員
5/23	第 3 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
5/27	更別中央中学校体育祭	佐藤委員他 2 名
5/29	南十勝教育振興会役員会・総会	佐藤委員
6/11	更別小学校運動会 認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同運動会	寺井委員 佐藤委員他 1 名

6/21	第4回教育委員会議	佐藤委員他3名
7/ 1	更別幼稚園運動会	佐藤委員他3名
7/18	第5回教育委員会議	佐藤委員他3名
7/20～21	北海道市町村教育委員研修会	佐藤委員他3名
8/22	第6回教育委員会議	佐藤委員他3名
9/11	令和5年第3回更別村議会定例会	佐藤委員
9/22	第53回更別村教育研究大会	佐藤委員他3名
9/25	第7回教育委員会議	佐藤委員他3名
9/30	更別中央中学校文化祭	佐藤委員他2名
10/24	第8回教育委員会議	佐藤委員他3名
10/27	十勝教育を考えるつどい（オンライン）	佐藤委員他3名
11/ 3	更別村文化賞・スポーツ賞等表彰式	佐藤委員他3名
11/10	更別小学校学習発表会	佐藤委員他3名
11/11	認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同学習発表会	佐藤委員他2名
11/18	更別幼稚園学習発表会	佐藤委員他3名
11/21	第9回教育委員会議	佐藤委員他3名
11/28	南十勝教育長・教育委員・校長研修会	本間委員他2名
12/19	第10回教育委員会議	佐藤委員他3名
12/27	十勝管内教育委員会委員研修会（オンライン）	佐藤委員他3名
(R6年)		
1/ 7	令和6年二十歳を祝う会	佐藤委員他3名
1/22	第11回教育委員会議 令和5年度二村教育委員研修会	佐藤委員他3名
1/26	村づくり懇談会	佐藤委員他3名

2/18	令和5年度更別村の教育を考える村民集会	佐藤委員他3名
2/22	第12回教育委員会議	佐藤委員他3名
3/ 4	教育奨励賞授与式（上更別小学校）	本間委員
3/ 6	教育奨励賞授与式（更別小学校）	佐藤委員他1名
3/ 8	教育奨励賞授与式（更別中央中学校）	神成委員
3/15	更別中央中学校卒業式 第13回教育委員会議	佐藤委員他3名 佐藤委員他2名
3/19	第14回教育委員会議	佐藤委員他3名
3/21	更別小学校卒業式	佐藤委員他3名
3/22	上更別小学校卒業式	佐藤委員他3名
3/24	認定こども園上更別幼稚園卒園式	佐藤委員他3名
3/25	更別幼稚園卒園式	佐藤委員他3名

4. 各種委員会等の設置及び概況

更別村教育委員会に設置している主な審議等の機関及び令和5年度における開催実績等は下記のとおりです。

名 称	委員 数	会議 回数	内 容	開催年月日
更別村学校教育 推進協議会	12	3	学校教育の指導向上を図るため、教職員の研究事業並びに小中学校等の文化、体育の各種事業を通じて教職員が交流を深め、もって児童・生徒の学力の向上と豊かな人間性を醸成に資することを目的とする。	R5. 4. 21 R5. 5. 16 R6. 3. 8
更別村小・中学校 学校運営協議会	10	4	(更別小学校) 保護者・地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善・児童生徒の健全育成に取り組むとともに、学校の支援組織として学校が協力を求める事業に積極的に関わる。	R5. 4. 27 R5. 8. 30 R5. 12. 20 R6. 2. 28
	10	4	(上更別小学校) 同 上	R5. 4. 27 R5. 8. 30 R5. 12. 5 R6. 2. 21
	10	4	(更別中央中学校) 同 上	R5. 4. 27 R5. 8. 30 R5. 12. 11 R6. 2. 27
更別村教育支援 委員会	9	4	就学児童や学齢児童・生徒の適正な就学指導、特別支援学級の活動を支援する。	R5. 6. 19 R5. 12. 7 R6. 1. 25 R6. 3. 28
更別村教育研究所	8	5	更別村教育の今日的な課題を明らかにするとともに、学校教育実践上の課題について調査研究を進め、教育推進の充実に資する。	R5. 5. 9 R5. 6. 14 R5. 7. 11 R5. 11. 16 R6. 2. 15

更別村社会教育委員	7	4	社会教育全般に関する諸計画立案や調査研究を行う。	R5. 4. 20 R5. 10. 4 R5. 12. 13 R6. 3. 14
更別村スポーツ推進委員	5	4	スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整及び実技指導、指導・助言を行う。	R5. 6. 8 R5. 9. 25 R5. 12. 8 R6. 3. 13
更別村学校給食センター運営委員会	8	3	更別村教育委員会の諮問等に基づき学校給食センター運営の重要事項の審議、協議を行う。	R5. 6. 13 R5. 12. 21 R6. 2. 28
どんぐり子供交流委員会	15	2	東松島市と更別村の児童が互いに市村を訪問し交流を行う事業の企画・運営を行う。	R5. 6. 13 R6. 3. 26
総合誌さらべつ編集委員会	6	5	総合誌さらべつの原稿募集、編集、発刊を行う。	R5. 7. 25 R5. 10. 12 R6. 1. 9 R6. 1. 23 R6. 2. 29
更別村コミュニティ・スクール委員会	11	4	各学校運営協議会・教育委員会・みんなの学校応援団等と連携を図り、意見・情報交換の場としてコミュニティ・スクール全般に関わることを協議する。	R5. 4. 27 R5. 8. 30 R5. 11. 13 R6. 3. 6
部活動地域移行検討協議会	12	1	子どもたちのスポーツ・文化活動を継続して親しむことができる環境作りを構築するため、部活動のあり方等を検討・協議する。	R6. 3. 8

5. 令和5年度教育予算の状況

(1) 予算編成

○当初予算・補正予算

「更別村教育目標」には、大きな4つの柱があります。

- 1) 人と人との関わりや生命を大切にし、積極的に運動し自らを鍛え、強い意志と美しい心を持ち、日々の生活を楽しいものにする。
- 2) 世の中の情報に関心を持ち、自ら考え正しい判断をし、相手の立場を認め思いやりを持ち、豊かな生活を築く。
- 3) 自ら学び続けて教養を身につけ、文化に触れて心豊かな生活を生み出す。
- 4) 先人の努力に学び、恵まれた自然を生かし、歴史や伝統を踏まえ、平和で心豊かな潤いのある生活を生み出す。

4つの教育目標の実現を図るため、教育行政執行方針を基に「第6期総合計画」で掲げる事業を推進し、その関連に沿って施策の見直しを行い、教育に対する村民の意識や関心を高め、家庭・学校・地域が連携協働のもと、学校教育、社会教育の発展を図るため、諸般の施策を限

られた財源の中で重点的・効果的に活用することを基本とし、予算編成を行いました。

学校教育の充実では、豊かな心と確かな学力の定着を目指し、自ら問題を解決するための資質と能力「生きる力」を育み、自主性を高め、主体的・対話的で深い学びが得られる学校づくりを鋭意進めております。

学習指導要領改訂に伴い、令和2年度から小学5・6年生の外国語が教科化されており、令和5年度は令和3年度から引き続き、中札内村と共同で外国語の専科教諭を配置するとともに、サポートとして外国語指導助手（ALT）を委託により引き続き確保しました。併せて、小学3・4年生の外国語活動は外国語専科教諭の他にNPO法人から日本人ALTを派遣・配置することにより、外国語に親しみやすい環境を構築してきました。また、中学生の英語授業は令和4年度まで国際交流員が補助的に関わっていましたが、都合により配置することができなくなったため、外国人ALTを派遣委託契約により確保し、英語授業でのネイティブスピーカーとしての役割等を図ることとしております。

小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度からプログラミング的思考を育てる教育が必修化されたことから、研修等を活かして授業に取り組み、未来を切り拓いていく力の醸成を図っております。

いじめや虐待が原因と思われる痛ましい事件が後を絶たず、体罰・不登校問題など様々な事案も社会問題化しております。個々の抱える事象に対し、身近に相談できる体制構築が重要なことから、令和5年度より2名のスクールカウンセラーを配置し、学校・家庭・地域の連携協力のもと、早期発見と早期対応に努めております。

教育上の特別な配慮が必要な児童生徒に対して各学校に特別支援教育支援員を配置し、個々の状況に応じたきめ細やかな学習体制の構築を図っております。

教職員の教育力向上及び研修活動の推進に関し、中札内村との指導主事の共同設置を継続して行い、積極的な情報提供や研修活動の推進を図りました。

上更別幼稚園は、平成30年4月に、ゼロから2歳児の保育、子育て支援などの機能を併せ持った認定こども園として整備し、地域における子育て環境の充実を図っております。

更別農業高等学校への教育支援では、生徒確保の対策として、スクールバスの運行経費、路線バスの乗車費用負担等の助成を行うとともに、各種資格取得経費への助成などを継続して実施しておりますが、少子化等の影響により生徒数確保が難しい状況にあります。また、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う国際情勢の不安及び渡航費用の高騰により、海外実習派遣事業を中止しております。また、校舎等の改修・設備備品等の整備につきましては、北海道教育庁への要請活動を実施しましたが、厳しい道財政の中にあって要請した項目について実施には至りませんでした。

村立学校施設設備の改修では、更別小学校の校舎、屋体屋根外壁等工事の他、旧屋外トイレの解体工事、給湯ポンプ交換改修を行い、校舎の機能維持を図りました。また、近年の猛暑への対策として、10月の村議会臨時会において幼稚園、各小中学校の普通教室、職員室及び校長室へエアコン設置工事に係る予算を計上し、令和6年7月末までに設置することし工事を進めています。

その他、令和5年度より高校生等入学支援金制度を創設し、高等学校等に入学した生徒の保護者を対象に、現金5万円とどんぐり商品券5万円分を入学支援金として支給することにより経済的負担の軽減及び生徒の健全な育成を助長することとしております。

生涯学習・社会教育の推進につきましては、「第9次社会教育中期計画」に基づき事業を推進しました。

青少年教育では、毎年中札内村と共同開催している青少年劇場は、幼児の部、小学低・高学年及び中学生の部とそれぞれ実施し、子供たちが本格的な芸術文化に触れ合う機会と

なっております。友好姉妹都市であります東松島市とのどんぐり子供交流事業につきましては、東松島市を会場として小学5・6年生を対象に実施することができました。

成人教育に係る講座開催につきましては、夏季講座及び冬季講座を開催し、住民の方への学習機会の提供を実施しました。

高齢者教育の末広学級は、運営委員会と事務局が中心となり計画性を持って事業を進めることができたところです。

文化の振興では、ヤチカンバ保護対策を推進するため、保護地域内に優先区域を設定し、エゾヤマナラシの防除及び植生再生試験として湿地としての現状を確認するため、地盤の掘り下げを実施しました。また、文化協会及び郷土芸能活動発展へ向けての支援を継続して行っており、総合文化祭を文化協会が中心となり開催しております。

国際交流事業であります中学生海外研修事業は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う国際情勢の不安の他、渡航費用の高騰や海外での研修に不安を持つ家庭もあることから、実施内容等について、飛び出せワールド推進協議会にて検討を進めております。

平成31年度にスタートしました更別村コミュニティ・スクールは、令和2年度に策定したアクション・プランに掲げられた項目の重点化を行い、各学校運営協議会、コミュニティ・スクール委員会、どんぐり村子ども会議で熟議を深めました。

スポーツ活動の振興では、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に移行され、スポーツ少年団や部活動に係る大会は感染症対策を図りながら開催されており、村内各スポーツ団体が主催する各種大会につきましても再開されております。また、教育委員会主催のどんぐり健康マラソン大会は、関係団体の協力のもの実施することができました。

体育施設につきましては、令和5年度より柔剣道場、農業者トレーニングセンター及びコミュニティプールを令和9年度まで株式会社オカモトに指定管理委託により運営実施をしております。

なお、施設改修につきましては、更別運動広場の野球場及びソフトボールのスコアボード更新と、コミュニティプールは玄関床タイル改修及び濾過器濾材交換、農業者トレーニングセンターは地下タンクライニング工事及びアリーナ照明の一部をLED照明に改修する工事を行いました。

学校給食の普及充実では、食育の推進に資するふるさと給食事業と、多子児童生徒を養育する世帯の経済的負担軽減を目的とした保護者負担軽減事業を継続して行い、併せて近年の著しい物価高騰を鑑み更なる子育て支援の充実を図るため、自主財源による給食費無償化事業を新たに実施しました。

また、昭和54年の竣工後、築40年以上が経過したことで老朽化による修繕が頻繁に発生し、国で定める現在の学校給食衛生管理基準に適合していない学校給食センターを更別小学校敷地内に移転改築することとし、令和8年4月の供用開始に向けて、今年度基本設計業務を実施したところです。

(2) 教育費の予算

令和5年度教育費の予算現額は772,419千円で一般会計予算額の約11.75%を占め、前年度と比較し308,439千円の増額となりました。

教育費における項・目別予算現額の内容は次のとおりです。

○令和5年度教育費予算額の内容(項・目別予算)

(単位:千円)

項及び目	予算額	項及び目	予算額
1 教育総務費	153,080	5 社会教育費	39,593
(1) 教育委員会費	31,609	(1) 社会教育総務費	25,049
(2) 事務局費	120,970	(2) 社会教育施設費	14,544
(3) こども夢推進費	501	6 保健体育費	115,172
2 小学校費	243,675	(1) 保健体育総務費	3,526
(1) 学校管理費	242,007	(2) 体育施設費	71,777
(2) 教育振興費	1,668	(3) 学校給食費	39,869
3 中学校費	87,480	7 教育諸費	18,888
(1) 学校管理費	85,941	(1) 研究奨励費	7,542
(2) 教育振興費	1,539	(2) 学芸奨励費	3,457
4 幼稚園費	114,531	(3) 財産管理費	7,889
(1) 幼稚園管理費	114,531		
		計	772,419

(3) 重点施策に関連する主な事業決算額

施策名: 高等学校教育の振興・支援(教育総務費補助金)

【単位:千円】

事業名	事業概要	決算額
更別農業高校生徒確保等支援事業	公立高等学校配置計画による学校再編が進む中、現行の学級数維持を図るため、村内外の入学者に対する通学費等の補助を行い高校の活性化を図る。	21,314
更別農業高校教育支援事業	寮運営、農業関係活動費等の支援を行うことにより、教育の振興発展と地域に根ざした信頼される学校づくりを図る。	3,950

施策名：教育環境・内容の充実（小学校）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
特別支援教育支援員 配置事業	一人ひとりの子供に対するきめ細やかな対応に資するため、両小学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。（計４名）	10,721
外国語指導推進事業	外国語教育の充実と国際理解教育推進向上を図る。 ・外国語指導助手（ALT）※３・４年計 70 時間対応	1,053
施設改修事業 （更別小学校） （両小学校共通）	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・校舎、屋体屋根外壁等工事 ・屋外トイレ解体工事 ・普通教室、校長・職員室エアコン設置	69,272 (37,015) (1,529) (12,310) ※次年度繰越 45,322
スクールバス購入事業	遠距離から通学する児童のため、スクールバスを運行し、就学確保を図る。（小学生 2 km 以上、中学生は 3 km 以上） ・上更別方面バス更新	24,035
学校情報通信技術環境整備事業	児童の情報管理や学力データの蓄積管理等を行う校務支援システムを導入し、併せてセキュリティ強化を行うことにより、安全な情報管理や教員の業務負担の軽減を図る。 ・ゼロトラスト教育プラットフォーム構築委託料 ・教職員校務用パソコン購入	40,687 (36,718) (3,969)
こどもの安心・安全対策緊急支援事業	スクールバスに車内置き去り防止安全装置を取り付けることにより、未然に置き去り事故防止を図る。 ・車内置き去り防止安全装置取付（バス 3 台分）	677

施策名：教育環境・内容の充実（中学校）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
特別支援教育支援員配置事業	一人ひとりの子供に対するきめ細やかな対応に資するため、中学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。（２名）	5,522
スクールカウンセラー配置事業	専門的な知識を持つスクールカウンセラーを配置し、子供や保護者への心のケア・支援を行う。	1,324
外国語指導推進事業	外国語教育の充実と国際理解教育推進向上を図る。 ・外国語指導助手（ALT）配置 （中学校及び小学５・６年対象）	5,982
施設改修事業	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・普通教室、校長・職員室エアコン設置	8,930 ※次年度繰越 13,449
学校情報通信技術環境整備事業	生徒の情報管理や学力データの蓄積管理等を行う校務支援システムを導入し、併せてセキュリティ強化を行うことにより、安全な情報管理や教員の業務負担の軽減を図る。 ・ゼロトラスト教育プラットフォーム構築委託料 ・教職員校務用パソコン購入	20,496 (18,359) (2,167)

施策名：プログラミング教育環境の整備（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
プログラミング教育事業	小学校学習指導要領が令和２年度に改訂され、プログラミング教育が必修化されたことに伴い、体験の場を通じて子供たちのプログラミング的思考を育てる。（R4より絵本づくりや科学体験も実施）	1,030

施策名：高齢者の学習活動支援（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
高齢者教育推進事業	高齢化社会にあつて、高齢者が生涯学習を通じて生きがいづくり及び社会参加を行う等の事業を開催。ボランティアや地域づくりの促進を図る。	797

施策名：文化芸術鑑賞、芸術・文化活動の支援振興（社会教育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
青少年教育推進事業	青少年に芸術鑑賞や交流体験の機会を提供し、心の豊かさやゆとりを実感できる文化活動の振興・発展を図る。	5,040
文化推進事業	各種芸術鑑賞機会を提供するとともに、地域文化活動の推進と全村的な文化活動の振興・発展を図る。	4,624

施策名：学校の運営及び支援（社会教育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
コミュニティ・スクール推進事業	家庭・地域それぞれの人たちが学校運営協議会を通して学校運営に参画し、地域とともにある学校へ転換するとともに、コミュニティ・スクール委員会を設置し、関係機関と連携し協議を進める。	3,070

施策名：スポーツの振興、活動の支援（保健体育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
スポーツ振興事業	スポーツを通じて住民の体力づくりや地域づくりを行い、スポーツ活動の振興・発展を図る。	2,842

施策名：社会体育施設の充実（体育施設費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
体育施設管理事業	民間事業者による指定管理を導入し、利用の促進を図る。（㈱オカモトによる指定管理） ・柔剣道場管理業務 ・コミュニティプール管理業務 ・農業者トレーニングセンター管理業務	44,792 (1,555) (23,505) (19,732)
体育施設改修事業	効率的な改修を行い、施設の長寿命化と社会体育体制の確保を図る。 ・コミュニティプール改修 （玄関床タイル改修、濾過器濾材交換） ・農業者トレーニングセンター改修 （地下タンクライニング工事、アリーナ照明改修）	(5,467) (5,159)

施策名：給食の安心・安全の支援（学校給食費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
ふるさと給食助成事業	食育教育の一環として、安心して安全な食材を提供するとともに地産地消の推進を図る。	1,294
保護者負担軽減事業	子育て支援のため、多子世帯の給食費の助成を行い負担軽減を図る。	2,497
給食費無償化事業	小中学生の保護者の経済的負担の軽減を行うことで、子育て支援の充実を図る。	9,960

施策名：教育環境の充実（学校給食費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
学校給食センター改築事業	老朽化が著しく学校給食衛生管理基準に適合していない学校給食共同調理場を移転改築し、令和8年4月から供用開始するため、令和5年度基本設計、6年度実施設計、7年度本工事、8年度旧施設解体工事を行う。	1,320

施策名：教育体制の充実（研究・学芸奨励事業補助金）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
学校教育推進協議会助成事業	学校教育の指導向上のため研究実践活動・教員の研修等を行い、自ら学び自ら考える力の定着など、生きる力を育む教育の推進を図る。	1,642
小中学校文化・スポーツ大会派遣事業	児童・生徒の全道・全国大会への派遣支援として助成を行い、文化・スポーツの推進を図る。	1,597

6. 頑張る子供たちへの支援

児童・生徒等の各種大会出場及び結果

大会名	派遣先	派遣月日	被派遣者	成績
第44回北海道中学校ソフトテニス大会	帯広市	R5. 7. 28 ～30	濱口 夕芽 太田 彩心 (中央中3年)	女子ダブルス個人戦 ：2回戦敗退
第53回北海道中学校卓球大会	八雲町	R5. 8. 3 ～ 5	織田 みそら (中央中3年)	個人戦シングルス女子 ：2回戦敗退

令和 5 年度特別 国民体育大会ソ フトテニス競技 北海道ブロック 予選会	北見市	R5. 8. 9 ～8.10	濱口 夕芽 太田 彩心 (中央中 3 年)	女子ダブルス個人戦 : 2 回戦敗退
2023 年度北海道 卓球選手権大会 (カデットの部)	釧路市	R5. 9. 1 ～ 3	吉田一翔 (中央中 2 年) 吉根 陸人 (中央中 1 年)	男子ダブルス 吉田・吉根組 : 3 回戦敗退 13 歳以下男子シングルス 吉根陸人: 2 回戦敗退 14 歳以下男子シングルス 吉田一翔: 4 回戦敗退
第 54 回北海道中 学校スケート大 会	釧路市	R6. 1. 5 ～ 7	〈男子〉 木本拓真 (中央中 3 年) 水口翔介 (中央中 3 年) 森田蒼平 (中央中 2 年) 田村光一朗 (中央中 1 年) 太田佳来 (中央中 1 年) 男子リレー (水口、森田、田村、木本) 〈女子〉 半田 萌 (中央中 3 年) 本多留樹菜 (中央中 2 年) 濱口芽依沙 (中央中 1 年) 高久絢未 (中央中 1 年) 女子リレー (本多、高久、濱口、半田)	3,000m : 2 位 5,000m : 3 位 500m : 3 位 1,000m : 5 位 500m : 25 位 1,000m : 22 位 500m : 40 位 1,500m : 28 位 1,000m : 32 位 3,000m : 44 位 2,000m リレー : 5 位 500m : 10 位 1,000m : 12 位 1,000m : 40 位 1,500m : 40 位 500m : 31 位 1,000m : 42 位 500m : 41 位 1,000m : 50 位 2,000m リレー : 5 位

第 44 回全国中学校スケート大会	長野県 長野市	R6. 2. 1 ～ 7	<男子> 木本拓真 (中央中 3 年) 水口翔介 (中央中 3 年) 森田蒼平 (中央中 2 年) <女子> 半田 萌 (中央中 3 年)	3,000m : 4 位 5,000m : 6 位 500m : 6 位 1,000m : 13 位 500m : 32 位 1,000m : 42 位 500m : 14 位 1,000m : 16 位
ダンロップ杯争奪第 6 回北海道中学生 1 年生団体王座ソフトテニス大会	滝川市	R6. 3. 16 ～ 17	中屋敷 紗久 (中央中 1 年) ※十勝選抜として	2 位トーナメント 2 位

7. その他

○ 令和 5 年度各会計決算資料の掲載事項

- *学級数・児童生徒数・教職員数の状況 (P13) *農村環境改善センター利用状況 (P14)
- *農業者トレーニングセンター利用状況 (P14) *柔剣道場利用状況 (P14)
- *コミュニティプール利用状況 (P15) *学校等別給食日数の状況 (P16)
- *学校給食主食形態別内訳 (P16)

第 2 章 第 6 期更別村総合計画に基づく評価

第 2 章 の ポ イ ン ト

平成 29 年度に策定された「第 6 期更別村総合計画」（計画期間 2018 年度から 2027 年度・以下「総合計画」という。）に沿って教育委員会活動の点検・評価を行っています。

具体的には、総合計画の基本計画が全 6 章で構成される中で、教育委員会に関する第 5 章「人が育つまちづくり」中の目標について、令和 5 年度の実施状況を中心に点検し評価を行っています。

1 社会教育

【基本的な考え方、取り組み方針】

「社会教育中期計画」に示す社会教育振興の基本方針に基づき、生涯学習の観点に立った住民の自主的な社会教育活動を推進します。

【施策】

- ・ 社会教育を推進する体制の充実
- ・ 社会教育に関する情報提供の充実
- ・ 学習機会の提供、充実
- ・ 高齢者の学習活動支援

◇推進状況

目 標	社会教育を推進する体制の充実
現状・成果	中札内村との広域連携事業として園児及び小中学生を対象に青少年劇場を開催し、普段目にすることのできない芸術鑑賞の機会を提供した。 また、高齢者学級の二村交流事業についても引き続き実施し、二村住民の親交を深める機会となった。 社会教育施設は、必要な予算計上と利用調整を行い、適正管理に努めた。
課 題	各分野ごとに精通した指導者の育成は、限られた人材の中で難しい課題である。 社会教育施設は経年と共に突発的な修繕等が考えられるが、利用に支障が生じないように、計画的な改修等を進めていく必要がある。

目 標	社会教育に関する情報提供の充実
現状・成果	広報紙・折込・防災無線・ホームページを活用し、各種情報を随時提供している。 各団体・サークル活動の紹介は頻繁に行ってはいないが、文化関連なら総合文化祭や総合誌さらべつで作品を紹介。スポーツ関連なら広報紙上で大会結果をお知らせし、際立った活動は広報担当で取材の上、紙面掲載を行っている。
課 題	教育委員会主催事業はお知らせや募集など適時情報を発信しているが、自主運営団体等については発信がないと活動が見えづらい部分もあり、会員の固定化や高齢化に繋がり運営に支障が生じるケースもある。

目 標	学習機会の提供、充実
現状・成果	新規講座を取り入れながら開設し、学習機会の提供を行っている。住民の学習ニーズに対応できるよう、指導者等の情報提供や講座開設に努めている。 学習成果の発表及び学習意欲向上の機会として、総合文化祭は重要な役割を担っている。
課 題	講座の開設は、自主運営活動に繋がるような内容で進めていく必要がある。 講座の指導者は村内での人材確保が困難であり、村外講師に頼っているのが実情である。

目 標	高齢者の学習活動支援
現状・成果	高齢者の学習機会の提供として「未広学級」への活動支援を実施。毎月第２・４水曜日の学級開設のほか、各部による活動も精力的に行われている。
課 題	ライフスタイルの多様化等により、新規入級生が少なく生徒数は減少の一途にある。平均年齢も上がっており、役員の担い手確保も難しい状況である。

2 芸術、文化

【基本的な考え方、取り組み方針】

芸術文化を通して心の豊かさやゆとりを実感できるよう、芸術文化に親しむ場や機会をつくれます。

更別固有の郷土芸能や文化財等を保護・保存し、後世に継承するため、ふるさと教育を推進します。

【施策】

- ・ 図書室の充実、利用促進
- ・ 芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供
- ・ 文化財の保護、活用
- ・ 郷土芸能、伝統技術の伝承

◇推進状況

目 標	図書室の充実、利用促進
現状・成果	農村環境改善センター図書室は専任司書を配置し、限られたスペースの中で図書内容の充実に努めている。またイベント開催による利用促進を図る取り組みを行っている。 その他、備付のない蔵書については、他の図書館との相互貸借により対応を図っている。 また、図書室の利用が困難な上更別地域の子供たち向けに毎月2回移動図書館を開設し、利用促進を図った。
課 題	施設規模の都合で蔵書可能な数量に限りがある。専門書の充実も要望が挙げられた経過があるが、多種多様な専門書を単独で揃えることは現実的ではないため、他図書館との相互貸借体制を構築したところである。 既存スペースの中でできる限りのニーズに応えた図書選定を進めていく必要がある。

目 標	芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供
現状・成果	文化協会を通じて各文化団体への支援を継続して行い、活動促進を図っている。 未就学児童・小学生・中学生向けに毎年中札内村と共同で行っている青少年劇場を開催し、普段接することの少ない本格的な芸術鑑賞の機会を設けた。
課 題	文化協会加盟単協の中には高齢化と相まって新規会員の確保も苦慮している状況にあり、会員減少・活動停滞が危惧されている。 新たな単協創設のきっかけとなるような講座の展開が求められる。

目 標	文化財の保護、活用
現状・成果	村の歴史上重要な拠点に整備した史跡銘板を維持管理し、歴史の保存意識を深めている。 学術的にも貴重とされている北海道指定天然記念物ヤチカンバは、平成16年度以来の個体数調査を昨年度実施した結果、当時の3,239本から1,494本まで減少していたため、今年度は有識者等の意見を参考に、保護地区内に優先区域を設定し、生育に支障があるエゾヤマナラシの防除及び植生再生試験として地盤の掘り下げを実施した。
課 題	ヤチカンバは株数減少が顕著であることから、有識者の意見を参考に、次年度以降も引き続き支障樹種の除去等の対策を図る必要がある。

目 標	郷土芸能、伝統技術の伝承
現状・成果	郷土芸能の「さらべつかしわ太鼓保存会」、「スッチョイサ踊り保存会」への活動支援を行っており、例年村内外の行事等で活動成果を発表している。 かしわ太鼓保存会は少年部の指導を通じて後継者育成を図っており、スッチョイサ踊り保存会は社会教育事業（子供交流事業など）と連携し、小学生の体験活動を通じて普及活動に努めている。
課 題	スッチョイサ踊り保存会は、高齢化、後継者不足が続いており、引き続き、後世に残す方策が必要。

3 スポーツ

【基本的な考え方、取り組み方針】

明るく豊かで活力に満ちた社会づくりや住民の心身の健全な発達を促進するため、生涯にわたってスポーツに親しめるよう努めます。

【施策】

- ・ スポーツ施設の充実
- ・ スポーツの振興体制づくり
- ・ スポーツに関する活動の促進

◇推進状況

目 標	スポーツ施設の充実
現状・成果	屋内施設では、農業者トレーニングセンターをはじめ、柔剣道場、コミュニティプール、地区体育館、学校開放事業施設の適正管理に努めている。 屋外施設では、更別運動広場、ソフトボール場及びテニスコートに照明施設を設置し夜間の利用にも対応している。 また、道東地区で盛んなスピードスケート振興のため、村民グラウンドに冬季間スケートリンクを整備。外部委託による上質な製氷管理を行っている。 その他、他課管理施設として、ふるさと館屋内広場・屋外広場、屋内ゲートボール場、どんぐり公園パークゴルフ場等もあり、幅広くスポーツ活動の場として利用されている。
課 題	今年度より民間企業による指定管理業務を実施し、民間ノウハウを得て各施設の有効利用を図れるよう、支援等を図っている。 また、施設の経過年数や劣化状況を見ながら、計画的な改修を進める必要がある。

目 標	スポーツの振興体制づくり
現状・成果	スポーツ活動の指導者確保並びに技術向上に向け、研修派遣助成制度を設けて指導者育成を促進している。
課 題	求められる指導者像は各団体により異なることから、相談があった場合は活動継続に繋がる体制づくりをサポートする必要がある。

目 標	スポーツに関する活動の促進
現状・成果	少年団及び成年層で組織する各スポーツ団体の自主的な運営に対して活動支援を行っている。大会についても、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されたことに伴い、感染状況も考慮しながら開催をしている。 今年度からトレーニングセンターを指定管理者制度を活用し、民間業者による運営を実施したが、曜日毎に種目別スポーツの日を定めていることも継続しており、利用しやすい環境整備に努めている。
課 題	スポーツは、個人の体力等に応じて自主的に取り組めることが重要であり、無理をせず継続し、健康増進に繋げられるよう普及することが必要である。

4 子育て支援

【基本的な考え方、取り組み方針】

子供を安心して産み育てられる子育て支援環境づくりに取り組みます。

【施策】

- ・ 子育ての支援体制、サービスの充実
- ・ 子育てへの不安の解消
- ・ 子供が遊ぶ場や機会の拡充

◇推進状況

目 標	子育ての支援体制、サービスの充実
現状・成果	本項目で教育委員会が所管する取組は幼保小の連携の部分であり、更別小学校区では幼保小の園児・児童の交流活動、上更別小学校区では幼小合同の運動会及び学習（保育）発表会等を行っている。また、様々な場面で教職員同士の情報交換を実施している。
課 題	煩雑な教職員業務の中で効率的に調整を行い、必要な部分の連携を深化させていくことが求められる。

目 標	子育てへの不安の解消
現状・成果	各幼稚園及び小・中学校の家庭教育学級へ、活動支援を継続。 各校で子供たちの様子に目配りしながら虐待の早期発見に努めている。 子育てに係る経済的負担軽減策では、要保護・準要保護児童就学援助、特別支援教育就学奨励、学校給食費保護者負担軽減助成、学校給食費無償化助成、中央中から更農高へ進学する生徒への被服購入支援を実施している。
課 題	物価上昇の影響により各家庭の経済状況が厳しさを増す中、必要な支援を進めていく必要がある。

目 標	子供が遊ぶ場や機会の拡充
現状・成果	教育委員会が所管する施設で子供たちが自由に遊べる空間として、屋外では更別農村公園・更別運動広場・上更別運動広場を、屋内では農業者トレーニングセンター（２階含む）・改善センターロビーを整備し、ホームページや子育て応援課作成の「子育て応援ガイド」で紹介している。 小・中・高校生、地域住民、高齢者との交流を、社会教育及び学校教育それぞれの分野で実施している。
課 題	子供たちの活動は多様化しており、居場所の在り方は適宜検討していく必要がある。

5 学校教育

【基本的な考え方、取り組み方針】

児童・生徒一人ひとりが、地域でのびのびと学校生活を送れるよう、教育環境と教育内容の充実に努めます。

【施策】

- ・ 小中学校の教育環境の充実
- ・ 小中学校の教育内容の充実
- ・ 教育体制の充実
- ・ 高等学校教育の振興・支援

◇推進状況

目 標	小中学校の教育環境の充実
現状・成果	学校施設は築年数が嵩んでいることから、長寿命化を図るため、計画的に整備を進めている。 中学校校舎については、耐力度調査の結果と村全体の施設整備状況を考慮し、なお時間をかけて検討することとした。併設の学校給食センターは中学校校舎と同等の築年数だが、施設が古いことで国が示す現在の学校給食衛生管理基準に適合しておらず、また、老朽化が進んでおり、安全な給食を安定的に提供することができなくなるおそれがあることから移転改築することとし、今年度基本設計業務を実施した。 情報教育の部分では、GIGAスクール構想に基づく校内通信ネットワーク環境整備と一人1台端末の導入を行っているが、更なる充実に図るため、効率的な授業展開に資する問題データベースやタブレットドリル、教師用デジタル教科書などを導入した。 スクールバス車両は、総合計画に基づき近年中に更新予定。運行委員会の意見を踏まえて効率的な運行体制の確立に努めている。
課 題	校舎整備は年次的に計画を立てているが、経年とともに突発的な修繕も発生している。学校以外の公共施設も同時期に建設したものが多いため、財政部局と協議をしながら、効率的な整備を進めていくことが求められる。 学校給食センターは、令和6年度実施設計業務、7年度本工事、8年4月に新施設供用開始を計画しているが、スムーズな給食提供体制を構築するため、準備に遺漏のないよう進めていく必要がある。 GIGAスクールは、設備の保守管理や端末更新等に多額の費用を要することが予想されるため、様々な場面を通じて国へ補助の新設要望を行っている。 スクールバスは国庫補助の対象だが、自己負担も伴うため、真に必要な車両を厳選することが求められる。

目 標	小中学校の教育内容の充実
現状・成果	学力向上へ向けては、新学習指導要領の趣旨を踏まえて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業となるよう年間指導計画に基づき取り組んでいる。 今年度実施した全国学力・学習状況調査では、小学校は国語・算数において全国を下回ったものの、中学校では国語・数学・英語の全ての教科で全国を上回る結果となった。 体力向上の面では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において小学校男子で全8種目中5種目、女子は4種目で全国を上回り、中学校男子は全8種目中3種目、女子は4種目で全国を上回る結果となった。 小・中学校間は円滑な接続に向けた連携が重要であることから、校長会議、教頭会議をはじめ、教育研究所や教育支援委員会等の場を活用し、管理職のみならず教諭段階においても積極的に情報交換を行っている。また、スムーズな中学校生活に繋げられるよう、小学校2校の合同修学旅行を実施し、児童同士の理解を深める一助とした。 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細やかな教育環境確立に資するため、各学校に引き続き支援員を配置した。 安全安心な学校給食を提供するため、J Aさらべつをはじめ、納入先を厳選して食材を選定した。 令和2年度から教科化された小学5・6年生の外国語授業へは、中札内村と共同で専科教諭を配置し、教育体制の充実を図ったところである。外国語指導助手（ALT）についても引き続き配置し、専科教諭と共にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成を図った。 ふるさと教育については、小学3・4年生段階で副読本を使った地域の歴史・産業等の学習をはじめ、コミュニティ・スクールを介した地域人材の協力による授業支援等を幅広く実施した。
課 題	学力・体力とも全国平均を上回る結果となっているが、項目別では全国平均を下回っている項目もあることから、検証サイクルと指導方法を更に工夫改善し、向上へ向けた取組を進める必要がある。 特別支援教育支援員の存在は重要であることから、求める人材の確保に努める必要がある。 給食施設は厚生労働省の衛生基準に適合していないことから、施設整備に向けた検討が必要。 インターネットの普及により国際化は益々身近になっており、次代を担う子供たちにとって外国語を通じたコミュニケーション能力の育成は重要であることから、専科教諭の継続配置に向けた取組が必要である。

目 標	教育体制の充実
現状・成果	教職員の指導力向上に向けた取組については、村教育研究所、十勝教育研修センター、道立各教育センター等の研修機関への積極的な参加を奨励しているほか、中札内村との指導主事共同設置事業を継続しており、教職員への指導、助言、情報提供等、専門的なスキルをもって教育力の向上が図られている。 コミュニティ・スクールは5年目に入り、前年度決定した「子どものネット・スマホ・ゲームとの付き合い方ルール宣言」の実施状況について、各学校運営協議会及びコミュニティ・スクール委員会での情報共有や、小中学校児童会・生徒会によるどんぐり子ども会議での状況確認を行った。 不登校児童・生徒への対応や発達に不安のある家庭への支援のため、スクールカウンセラーを2名を配置しており、相談体制を構築することができた。 教職員住宅は築年数が嵩んでいる棟もあるが、必要な改修等を行い適正管理に努めた。
課 題	指導主事の存在は大きく継続配置を望むところであり、中札内村との調整を進めていく必要がある。 コミュニティ・スクールは、積極的な活動展開や情報発信により年を追うごとに地域への浸透が図られていると感じているが、より地域総がかりで子供たちを育てる意識を醸成するため、継続した取組が必要である。 スクールカウンセラーは限られた人材が管内複数校を兼任している状況から、本村の希望どおりにはいかない部分がある。 一定の経年状況にある教員住宅は整備を考えなければならないが、今後の学校整備の在り方に大きく左右されるものである。

目 標	高等学校教育の振興・支援
現状・成果	道立更別農業高等学校の教育振興及び地域に根ざした信頼ある学校づくりを進めるとともに、生徒確保に向けた様々な事業に対し支援を継続した。
課 題	地域へ密着した学校であり存在意義は大きく、生徒確保は最重要課題であるが、少子化と相まって管内他校でも同様の支援を行っており、確保は容易ではない。 生徒数減が支援額増に繋がる事業もあることから、財政状況を考慮しつつ最大限の効果を得られるよう、内容を精選し支援を継続する必要がある。

6 青少年育成

【基本的な考え方、取り組み方針】

家庭・学校・地域と連携し、地域とのかかわりを通して青少年の健全な育成に努めます。

【施策】

- ・ 青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
- ・ 青少年を育成する活動の促進

◇推進状況

目 標	青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
現状・成果	村では子供たちの健やかな成長を、地域・家庭・学校が一体となって見守り育てていくことを目的に「更別村教育の日」を制定している。2月第3日曜日に「更別村の教育を考える村民集会」を開催し、地域が子供たちを育む意識の醸成を図った。 コミュニティ・スクールでは、令和2年度に策定したアクション・プランの施策として、昨年度から引き続きインターネットとの付き合い方を重点化し、アンケート結果等を踏まえ熟議を重ね、青少年の生活習慣向上のため取組を進めた。 家庭教育学級・PTA活動の充実に繋げるための運営支援も継続しているが、新型コロナウイルスの影響を考慮しながらの活動展開となった。
課 題	青少年健全育成には、地域総がかりで育てる意識の醸成が肝要。その中でコミュニティ・スクールの活動は活発であり、更なる意識付けを目指した取組と情報発信が重要である。

目 標	青少年を育成する活動の促進
現状・成果	少年団活動は、子供のうちから団体生活での社会性・自主性を育む良い機会であるため活動支援を継続。ほか、地域子ども会への活動助成、こども夢基金を活用した子供たちの多様な体験への事業支援を行っている。 こども夢基金事業は、内容が分かりにくいなどの声を受け、昨年度にメニューの刷新を行い、各種事業への助成を実施した。 勤労青年で構成する「更別村農村青少年連合会」は、これからの地域を担う人材が集まっていることから育成のための活動支援を継続している。
課 題	現在支援を行っている事業の活動状況を随時確認し、効果を発揮するような対応を図る必要がある。 こども夢基金事業は、内容見直しにより活用の幅を広げたところだが、多くの方に利用してもらえよう頻繁に情報発信を行う必要がある。

7 国内外交流

【基本的な考え方、取り組み方針】

既存の地域間交流の推進とともに、国内外との交流の枠が広がる取り組みを進めます。

国際化に対応したまちづくりを進めます。

【施策】

- ・ 国内地域との交流の促進
- ・ 国外との交流、国際社会に対応した地域づくり

◇推進状況

目 標	国内地域との交流の促進
現状・成果	地域ボランティアの協力の下、宮城県東松島市の子供たちと相互に訪問を行っている「海と大地子ども交流事業」は、小学5・6年生を対象に東松島市を会場に実施した。
課 題	ホームステイにより子供を含めた家族間同士の相互交流による絆を深め、継続した交流促進を大きな目的としているが、時代の流れや感染症対策等を踏まえ内容を精査していく必要がある。

目 標	国外との交流、国際社会に対応した地域づくり
現状・成果	令和元年度から国際交流員を配置し、各種行事や各段階ごとの英会話教室を開設していたが、急遽退職することとなり、民間業者からALTを委託派遣契約により配置し、幼稚園や各学校での交流やネイティブスピーカーとしての役割を果たしている。 令和2年度からの開始を計画していた中学生海外研修事業は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う世界情勢の不安や、円安に伴う経費が膨大になることから、事業内容も含め検討することとした。
課 題	国際化の急激な進展により世界が身近に感じられる時代であり、ネイティブな外国語の習得へ向けた取組を更に進めていく必要がある。 海外研修事業は、内容を含め関係機関と連携を図りながら検討する。

◇ データ

○ 幼稚園数及び園児数の推移

区分	組、園児数 幼稚園名	組、園児数									
		R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
幼稚園	更別幼稚園	3	33	3	38	3	39	3	39	3	29
認定こども園	上更別幼稚園	5	11	5	14	5	19	5	18	5	16
	計	8	44	8	52	8	58	8	57	8	45

○ 小・中学校数及び児童生徒数の推移

区分	組、児童数 学校名	組、児童・生徒数									
		R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
小学校	更別小学校	10	148	11	137	11	138	11	128	11	127
	上更別小学校	4	22	5	19	5	19	6	21	6	22
	小 計	14	170	16	156	16	157	17	149	17	149
中学校	更別中央中学校	7	101	6	87	6	89	6	91	6	91
	計	21	271	22	243	22	246	23	240	23	240

※ 北海道立更別農業高等学校生徒数の推移

(参考)

	組、生徒数 学科名	組、生徒数									
		R 元年度		R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度		R 5 年度	
農業 高校	農 業 科	3	65	3	59	3	60	3	56	3	45
	生活科学科	3	64	3	57	3	47	3	39	3	45
	計	6	129	6	116	6	107	6	95	6	90

○ 学校別給食日数（令和5年度）

(単位：日・食)

区 分	給食供給日数	食 数
更 別 小 学 校	195	27,649
上更別小学校	192	6,156
更別中央中学校	196	20,749
幼 稚 園	168	5,083
調 理 場	203	1,226
試食・その他	203	602
計	1,157	61,465

○ 学校給食主食形態別内訳（令和5年度）

(単位：回・食)

区 分	パ ン	米 飯	めん類	計
回 数	41	123	39	203
食 数	12,264	35,348	12,025	59,637

○ 教職員住宅の管理状況（令和５年度）

学校名	面積(㎡)	建築年度	戸数	経過年数	備 考
更別小学校	69.22	S 59	2	39	A-1、A-2
	69.22	S 63	2	35	B-1、B-2
	69.22	S 59	2	39	C-1、C-2
	74.82	H 7	2	28	D-1、D-2
	74.82	H 7	2	28	E-1、E-2
	74.82	H 9	2	26	F-1、F-2
	小計		12		

上更別小学校	79.38	S 56	1	42	A
	79.38	S 58	1	40	B
	63.61	S 59	2	39	1-1、1-2
	63.61	S 59	2	39	2-1、2-2
	63.61	S 61	2	37	3-1、3-2
	小計		8		

更別中央 中学校	79.37	H13	2	22	A-1、A-2
	61.56	S 52	1	46	C
	61.56	S 53	1	45	D
	60.75	S 54	1	44	E
	60.75	S 54	1	44	F
	60.75	S 55	1	43	G
	小計		7		
合 計			27		

8. 令和5年度 教育委員会の事務・事業 評価

(1) 評価の目的

評価は、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）というサイクルの中に位置付けられており、成果による施策・事業の管理（マネジメント）を実現するための手法の一つです。

評価の実施によって事務・事業の現状把握や施策の効果測定を行い、課題解決のための意識改革や共通認識の向上を図ることにより、「予算という目的主義から効果や達成度が反映される決算重点主義への転換」と「マネジメントサイクルの確立による効率的な教育行政運営」を目指します。

(2) 評価の区分

- ①一次評価～政策重視、スクラップ・アンド・ビルドの原則のもと、事務局による、
所管する事務・事業の評価
- ②教育に関し学識経験を有する者の知見による指導助言
- ③最終評価～教育委員会議による一次評価に対する最終評価

(3) 評価書のランク

評価は事業効果と継続要因の高低によりA・B・C・Dの4ランクに区分し、事務・事業優先度、見直し対象の区分を行い、次年度以降の執行にあたり効果的な教育行政の運営を目指します。

(事業効果)		
↑ 高い 低い ↓	B	A
	D	C
←低い 高い→ (継続要因)		
		A＝最優先 ― 最優先で施策として実施する（事務・事業） B＝上 位 ― 効果は高くても継続要因の低いもの C＝中 位 ― 効果は低くても継続要因の高いもの D＝下 位 ― 廃止や統合など事務・事業の見直し対象

(4) 事務・事業ごとの評価

○ 事務・事業評価書

1) 学校教育関係

No	予算科目	事業名	ランク	No	予算科目	事業名	ランク
1	教育総務費	更別農業高校生生徒確保等支援事業	A	14	中学校費	スクールカウンセラー配置事業	A
2	教育総務費	更別農業高校教育支援事業	A	15	中学校費	外国語指導推進事業	C
3	教育総務費	高校生等入学支援事業	A	16	中学校費	学校施設維持管理事業	A
4	教育総務費	指導主事共同設置事業	A	17	中学校費	学校施設改修事業 (普通教室・職員室・校長室空調設備工事)	B
5	教育総務費	こども夢基金事業	A	18	中学校費	学校情報通信技術環境整備事業	A
6	小学校費	特別支援教育支援員配置事業(2校)	A	19	中学校費	就学援助事業	A
7	小学校費	外国語指導推進事業	C	20	保健体育費	ふるさと給食助成事業	C
8	小学校費	学校施設維持管理事業	A	21	保健体育費	給食費保護者負担軽減事業	A
9	小学校費	学校施設改修事業 【校舎・屋体屋根外壁等工事、屋外トイレ解体工事、給湯ポンプ改修工事(更小)、普通教室・職員室・校長室空調設備工事(更小)(上更小)】	B	22	保健体育費	給食費無償化事業	A
				23	保健体育費	学校給食センター改築事業	B
				24	教育諸費	教育奨励事業	A
10	小学校費	スクールバス購入事業(上更別方面バス更新)	A	25	教育諸費	研究奨励事業	A
11	小学校費	学校情報通信技術環境整備事業	A	26	教育諸費	学校スケートリンク造成管理事業	C
12	小学校費	就学援助事業	A	27	教育諸費	各種文化・スポーツ大会派遣事業	A
13	中学校費	特別支援教育支援員配置事業	A	28	教育諸費	学芸奨励事業	A

2) 社会教育関係

No	予算科目	事業名	ランク	No	予算科目	事業名	ランク
1	社会教育費	生涯学習推進事業	A	12	保健体育費	農村公園維持管理事業	C
2	社会教育費	青少年教育推進事業	A	13	保健体育費	地区体育館維持管理事業	D
3	社会教育費	成人教育推進事業	A	14	保健体育費	コミュニティプール維持管理事業	C
4	社会教育費	高齢者教育推進事業	A	15	保健体育費	コミュニティプール改修事業 (玄関床タイル改修、濾過器濾材交換)	C
5	社会教育費	文化推進事業	A	16	保健体育費	トレーニングセンター維持管理事業	C
6	社会教育費	図書室運営事業	C	17	保健体育費	トレーニングセンター改修事業 (地下タンクライニング工事、アリーナ照明改修工事)	B
7	社会教育費	コミュニティ・スクール推進事業	A	18	保健体育費	村民スケートリンク造成管理事業	A
8	社会教育費	農村環境改善センター維持管理事業	C				
9	保健体育費	スポーツ振興事業	A				
10	保健体育費	柔剣道場維持管理事業	C				
11	保健体育費	運動広場維持管理事業	C				

9. 更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価等に対する指導・助言事項

頁	点検・評価事項	指導・助言事項
P 11～ 20	令和5年度教育予算の状況	・各学校のエアコン設置については早期に対応したことは評価できるが、避難場所に指定されている体育館の空調設備についても、限られた予算の中で優先順位等あると思うが、対策を講じる必要があると思われる。 - また、生活様式に合わせて学校施設（屋外トイレ・体育館含む）のトイレ洋式化にする改修を早急に進める必要がある。 ・今後のジェンダーレスに対応するため、多目的トイレの設置を検討してはどうか。
P 22 P 24	社会教育に関する情報提供の充実 図書室の充実、利用促進	・情報化時代の昨今、情報提供はSNSを中心としたものが好まれるため、教育委員会のLINEなどを立ち上げ、村ホームページに必要な情報を貼り付け、必要な情報を必要な時に引き出せるようにしてはどうか。 ・図書室のスペースが限られているのであれば、電子書籍の導入も検討してはどうか。
P 29	子供が遊ぶ場や機会の拡充	・子供の活動について課題のとおり多様化しており、外で遊ぶ機会も相当減少していると感じている。
P 31	教育体制の充実	・いじめや体罰、不登校などの問題に対して学校内だけでなく、スクールカウンセラーの相談体制を図っていると思われるが、その他に医療や福祉機関と連携して子供と保護者のサポートが大切である。

○指導・助言者 ・ 我妻 一則 （元更別村社会教育委員 委員長）
 ・ 吉田 昭一 （更別村PTA連合会長）